

職員向け 放課後等デイサービス評価表(2018)							
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	4		1	・日中一時支援の児童も合わせて使用するため、活動によっては狭く感じることがある。 ・限られたスペースの中で工夫しながらスペースの確保につなげている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	4		1	・時と場合で人数が足りないと感じる時があるので声掛けをして対策。 ・早出・遅出を設けて、利用者数に合わせて職員配置も行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	4		1	・立便器の位置が高く、配慮がないように思える。 ・トイレなど手を置ける場所を設けてほしい ・事業所内ではすべて段差がない構造になっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	8	8		1	・なるべく参画できるようにしているが、十分にできていない。 ・個々に意見を出し合い目標設定・ふり回りも行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	2		2	・アンケート調査をしているかどうかなどがわからない。 ・保護者向けの評価表を活用し、今後の改善への検討を行なっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	3	1	2	・公開して良いと思う。
適切な支援の提供	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	4	1	3	
	⑧	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保しているか	15	2			・もっと機会を増やして良いと思う。 ・施設内・外で研修の機会を設け研修に参加できるようにしている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	2		1	・十分にアセスメントができていない。聞きとるアセスメント表の改善が必要である。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	6	1	2	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	6		2	・チームで行っているかは把握できていない。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	13	3		1	・個別では個人に合った課題を提供。 ・季節感を考慮したり、積極的に法人の行事にも参加している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	14	2		1	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	2		1	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	3	1	1	・もっと密な話(打合せ)がしたい。 ・その日までの支援内容まではわからない事が多いので、現場に入る前に話せる場を設けてはどうか
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	15	1		1	・終礼を行い、次の支援につなげている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	3		1	・活動記録表の見直し、改善が必要である。
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	15	1		1	・利用者の状況に合わせて見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	7		2	・ガイドラインを音読している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか	15	1		1	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15	1		1	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10	4		3	・対象児がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか	8	6	1	2	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	4		2	・行っているが不十分と思われる。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	3	1	2	・研修は受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	10	2	・特にないと思うので、交流できる場を少しずつ作っていった方がいい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	5	3	3	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	1		1	・十分に共通理解する時間を設けられていない。 ・送迎時間に伝えている。電話連絡を行っている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	8	4	2	・職員が研修を受ける必要がある。
	㉚	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	2		1	・利用開始時に重要事項説明書・契約の説明を行っている。
	㉛	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	3		1	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	9	1	1	・保護者同士の情報交換会を行っている。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		1	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	3		1	
	㉟	個人情報に十分注意しているか	16			1	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	4		1	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	6		1	・法人の行事のみで事業では機会がない。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	6		1	・保護者への周知はない。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16			1	・避難訓練を定期的に行っている。備蓄食での災害訓練も実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	3		1	
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	6		1	・対象の児童がいない。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	4		1	・対象の児童がいない。
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	4		1		